

# 11月 食育だより



【今月の目標】

SDGsと学校給食を考えよう！

令和5年11月 中学生用

## 飢餓とたたかう学校給食



SDGsの目標2は「飢餓をゼロに」です。現在、世界では約10人に1人（7億8千万人）が飢餓に苦しんでいます。また目標4は「質の高い教育をみんなに」ですが、今もなお数多くの子どもが毎日おなかをすかせたまま学校に通い、授業に集中できません。家の仕事などを手伝うため、学校に通うことすらできない子どももたくさんいます。今回は国連の支援活動を知り、学校給食の役割を一緒に考えてみましょう。

### 国連 WFP による学校給食支援



↑国連は調理施設を整備し、現地の人に調理という仕事をしてもらう事で、地域の経済にも貢献しています。（南スーダン）



↑カンボジア北部、ポストム村の小学校の給食。旬の野菜と魚、スパイスやハーブを使ったスープとアメリカから寄付されたお米のごはん。（カンボジア）



↑給食の食材は可能な限り現地で調達し、運搬も行います。地域社会と協力して学校給食を行うことで、子どもたちが安心して学校に通えるそうです。

栄養たっぷりの給食のおかげで、集中力が高まり、勉強が分かるようになり、学校に来るのが楽しみになる子どもたちが多いそうですよ。

僕たちの給食の「地産地消」と似ているね。地産地消は食べる人と作る人の双方を幸せにするんだね。

カンボジアのウィ・ヘンさんの、学校や家での生活の様子がわかる動画があります。WFPのホームページからは、他にもいろいろな動画を観ることができます。

動画はこちらから



アクセス

